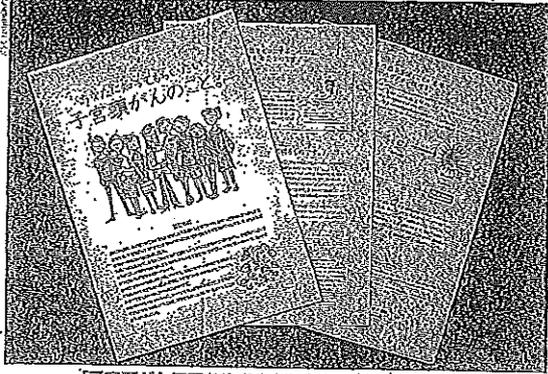


「子宮頸がんワクチン普及」団体



「子宮頸がん重症をめざす専門家会議」が作成した一般向けの啓発冊子。検診とワクチン接種を呼び掛けている

製薬会社の支援未公表

「実質販促」指摘も

輸入製薬から作る任意団体「子宮頸がん重症をめざす専門家会議」が、製薬会社から年間7000万円以上の資金提供を受けていると発表しないままワクチンの普及活動を進めてきた経緯の裏がここから。民間の医師や看護師らで組織された「子宮頸がんワクチン普及推進委員会」が、製薬会社のプロモーションの経緯を明らかにした。この経緯は、製薬会社の資金提供と実質的な販促活動と指摘されている。

2社700万円

専門家会議は2008年、子宮頸がんの検査とワクチンの普及を目標に掲げ、野田一郎・元滋賀大教授が議長、日本医師会理事や日本産科婦人科学会連

「解説」 任意団体は特定の目的の達成を目的とする。その目的達成のために必要な活動を行う。この場合、専門家会議は子宮頸がんの検査とワクチンの普及を目的として活動している。この活動は、製薬会社の資金提供によって行われている。この資金提供は、製薬会社の販促活動と指摘されている。

独立性担保を

製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。この独立性を担保するためには、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。この独立性を担保するためには、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。

「子宮頸がん」 12年度分からの始まった。製薬会社の資金提供は、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。この独立性を担保するためには、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。

「子宮頸がん」 12年度分からの始まった。製薬会社の資金提供は、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。この独立性を担保するためには、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。

「子宮頸がん」 12年度分からの始まった。製薬会社の資金提供は、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。この独立性を担保するためには、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。

「子宮頸がん」 12年度分からの始まった。製薬会社の資金提供は、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。この独立性を担保するためには、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。

「子宮頸がん」 12年度分からの始まった。製薬会社の資金提供は、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。この独立性を担保するためには、製薬会社の意向から独立性を担保する必要がある。

出典：毎日新聞 2015年2月20日付